

# 水産資源維持へ 計15万円を寄付

神奈川トヨタ商事

神奈川トヨタ自動車を中心とするK.Tグループ傘下の神奈川トヨタ商事（横浜市神奈川区）が、放流事業などを行う県栽培漁業協会（三浦市・城ヶ島）に10万円を寄付した。グループ代表の上野健彦氏も個人として5万円を寄付した。

神奈川トヨタ商事はプレジャーボートの販売などを手がける。船のオーナーは釣りを楽しむ人が多いことなどから、魚の種苗生産や放流によって水産資源の維持に取り組む同協会への寄付を決めた。

16日に上野氏や神奈川トヨタ商事の高橋正夫社長らが同協会を訪れた。寄付を受けた同協会専務理事の今

水産資源を維持する取り組みに計15万円が寄付された贈呈式（K.Tグループ提供）



井利為さんは「高度経済成長期に干潟や藻場が埋め立てられ、魚が育つ環境がなくなり、人為的に種苗生産し放流しなければ釣りや漁業は成り立たない。活動を理解してもらい、ありがたい」と話している。

（山本 昭子）